

施設名	組織	住所
石川町歴史民俗資料館	町立	石川郡石川町
喜多方市郷土資料館	市立	喜多方市
若松城天守閣郷土博物館	〃	会津若松市追手町
裏磐梯民芸館	個人	耶麻郡北塩原村
野口英世記念館	財団法人	耶麻郡猪苗代町
会津民俗館	個人	〃
河東村民俗館	村立	河沼郡河東村
奥会津地方歴史民俗資料館	町立	南会津郡田島町
奥会津南郷民俗館	村立	南会津郡南郷村
相馬市教育文化センター	市立	相馬市中村
いわき市文化センター	〃	いわき市平
勿来美術館	財団法人	いわき市勿来町
四倉史学館	個人	いわき市四倉町

⑨ 文化財資料刊行

出版資料名	編集のねらい
福島県指定文化財調査報告書	昭和45～52年度県指定文化財の指定文の収録
福島県の民俗音楽	代表的な民俗芸能の囃子と歌について記録保存
関和久遺跡Ⅳ	史跡指定調査としての発掘調査の実施報告
東北新幹線関係遺跡発掘調査略報	新幹線関係の発掘成果の略報
伊達西部条里遺構発掘調査概報	条里遺構の考古学的調査の記録
石川町母畑地区遺跡試掘調査報告	国営ほ場整備事業にかかる遺跡試掘調査報告
石川町母畑地区遺跡発掘調査概報	国営ほ場整備事業にかかる遺跡発掘本調査報告

⑩ 市町村の文化財保護条例制定状況

	全県	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき
市町村数	90	17	18	12	21	7	14	1
制定市町村数	87	17	18	12	19	6	14	1
制定率	96.7	100.0	100.0	100.0	90.5	85.7	100.0	100.0

(5) 銃砲刀剣類の登録状況

美術品もしくは骨とう品として価値のある古式銃砲や、美術品として価値のある刀剣類の登録を、登録審査委員の審査に基づいて実施した。

① 登録審査委員

平原松夫 福島市泉字泉川8-4
 宇井正三 安達郡白沢村白岩字大岩入133
 堤章 会津若松市馬場町5-1
 武田久夫 郡山市深沢2丁目2-19

② 登録審査会

期日	会場	鑑定数	不適格数	登録数	左の内訳		審査委員
					刀剣	銃砲	
5月23日	会津若松 合同庁舎	155	5	150	145	5	平原、堤
6月22日	いわき 合同庁舎	119	12	107	102	5	平原、武田

期日	会場	鑑定数	不適格数	登録数	左の内訳		審査委員
					刀剣	銃砲	
7月25日	郡山 合同庁舎	160	1	159	153	6	堤、武田
9月26日	県庁	152	15	137	131	6	平原、宇井
11月24日	会津若松 合同庁舎	170	6	164	152	12	宗井、堤、武田
12月20日	白河 合同庁舎	111	2	109	106	3	堤、武田
1月24日	原町 合同庁舎	83	10	73	69	4	平原、宇井
2月23日	県庁	149	12	136	132	5	平原、宇井
計	8会場	1,099	63	1,036	990	46	

再交付件数 59件
 所有者変更届件数 472件

2 遺跡保護事業

(1) 遺跡保護体制

開発に対応する遺跡保護体制の確立が要請されていたが県では、財団法人福島県文化センターに事業第2部遺跡調査課を新設し、4名の専門職員を配置した。

(2) 史跡指定調査

ア 目的

歴史上重要な遺跡の史跡指定を積極的に進めるため、第2次5か年計画を策定し、特に泉崎村に所在する関和久遺跡並びにその関連遺跡と目される上町遺跡の発掘調査を継続調査する。

イ 調査対象

関和久遺跡（西白河郡泉崎村大字関和久）

ウ 調査指導

伊東 信雄（東北大学名誉教授）

エ 調査期間

昭和52年11月1日～12月2日

オ 調査結果

遺跡の外郭線は東辺が確定し、ほぼ東西2.5町、南北3町以上のやや不正長方形の範囲が想定される。また、遺跡の北半部の台地上から郡庁部と考えられる掘立柱建物跡が検出され、正倉群が検出された南半部としてはその機能が異っていたとも考えられる。出土遺物は瓦、土師器須恵器等約500点を数えた。

カ 報告書

「関和久遺跡Ⅵ」史跡指定調査概報として刊行した。

(3) 開発用地遺跡対策

ア 遺跡分布調査

国営総合農地開発事業母畑地区（本年度事業施行地域）内の分布調査を実施し、更に試掘調査により遺跡の範囲密度等をは握した。また、矢吹地区についても分布調査を実施した。

イ 遺跡発掘調査

県営伊達西部ほ場整備事業

本年度事業施行地域内に遺存する条里遺構の発掘調査